

株式会社レスターホールディングス

2024年3月期第2四半期
決算補足説明資料

2023年11月14日



2024年3月期第2四半期 連結業績ハイライト



業績ハイライト

売上高は調達、環境エネルギー、電子機器事業が堅調に推移し増収
営業利益は対前年比の為替動向の違いに加え、特殊要因などにより減益

- 売上高
半導体及び電子部品事業の減収があったものの、調達事業、環境エネルギー事業並びに電子機器事業が堅調に推移し増収（前年同期比 2.3%増）
- 営業利益
デバイス事業における減収や円安動向が緩やかになったことによる在庫販売時の売上総利益の減少に加えて、得意先に関連した在庫評価減並びに貸倒引当金の計上、さらには前年同期の特需が剥落したことなどにより減益（前年同期比 16.0%減）
- 経常利益
金利上昇に伴う支払利息の増加もあり減益（前年同期比 53.3%減）
- 親会社株主に帰属する四半期純利益
経常利益の減益もあり減益（前年同期比 27.0%減）



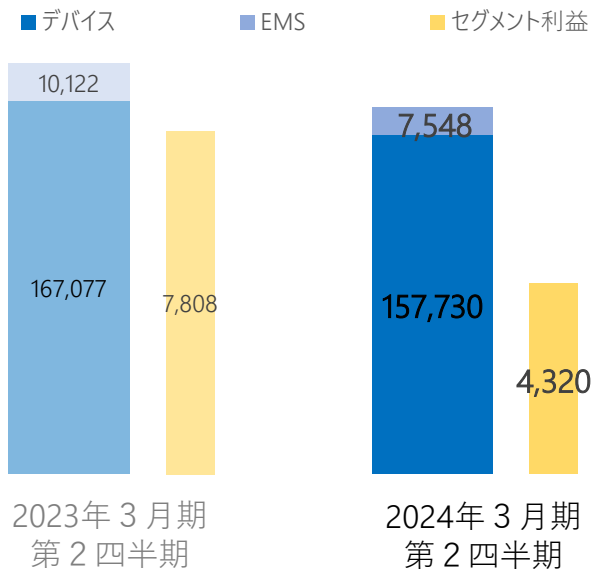
連結業績

単位：百万円	2023年3月期 第2四半期		2024年3月期 第2四半期		前年同期比	
	金額	売上比	金額	売上比	増減額	増減率
売上高	239,795	—	245,264	—	5,469	2.3%
売上総利益	20,822	8.7%	22,019	9.0%	1,196	5.7%
販売管理費	12,376	5.2%	14,920	6.1%	2,543	20.6%
営業利益	8,445	3.5%	7,098	2.9%	△1,347	△16.0%
経常利益	8,474	3.5%	3,955	1.6%	△4,518	△53.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	4,613	1.9%	3,367	1.4%	△1,246	△27.0%



半導体及び電子部品事業

(単位：百万円)

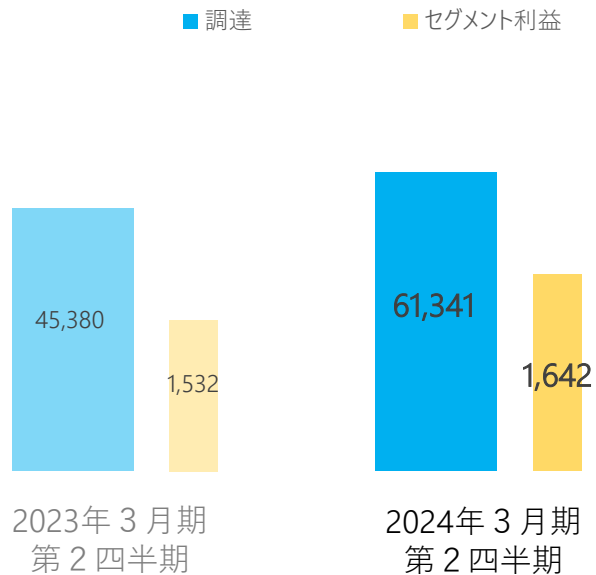


【ポイント】

- デバイス
引き続き産業機器向け・車載向けの売上伸長などがあったものの、サーバーやPC向けさらには通信機器向けなどの販売が減少し減収
- EMS
主力のスマートフォン・タブレット市況の低迷により減収
- セグメント利益
デバイス事業における減収及び円安動向が緩やかになったことによる在庫販売時の売上総利益の減少、さらには前年同期の特需が剥落したことに加えて、得意先に関連した在庫評価減並びに貸倒引当金の計上、及びEMS事業の減収により減益

調達事業

(単位：百万円)

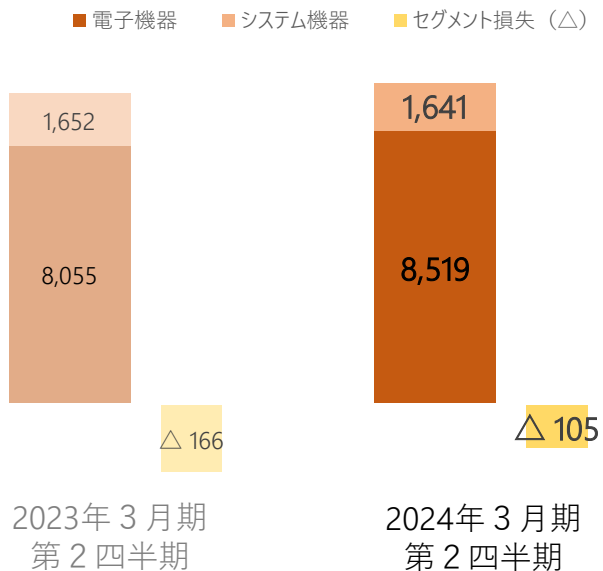


【ポイント】

- 調達
車載向けが好調に推移したことに加えて販路の拡大もあり増収
- セグメント利益
増収により増益

電子機器事業

(単位：百万円)



【ポイント】

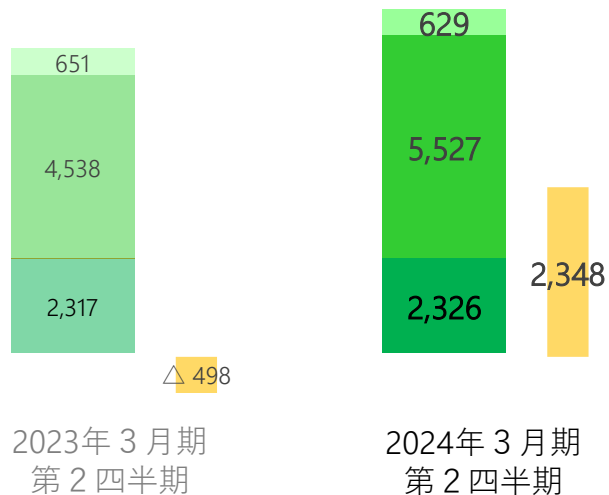
- 電子機器
医療向けの伸長や教育関連の需要増加などにより増収
- システム機器
海外製決済端末などの売上増加があったものの、マイナンバー個人認証関連製品の特需剥落により微減収
- セグメント損失
プロダクトミックスの良化により損益改善



環境エネルギー事業

(単位：百万円)

■ エネルギー ■ 新電力 ■ 植物工場 ■ セグメント利益又は損失 (△)



【ポイント】

• エネルギー

海外の太陽光発電所における発電や国内 P P A (電力販売契約) 事業の拡大により堅調に推移

	2Q FY22	2Q FY23	YoY	
エネルギー事業(百万円) (新電力への売上含む)	2,971	3,002	31	1.0%

太陽光発電量 (MW)	国内	151	151	0	0.0%
	海外	32	34	3	7.9%
	合計	183	185	3	1.4%

• 新電力

官需向けを中心に増収

• 植物工場

高付加価値野菜に取り組みながら、従来品種の収量拡大に努めたもののやや減収

• セグメント利益

新電力事業の保有電源による寄与やエネルギー事業が堅調に推移したこと、さらには植物工場事業の収益改善により増益

連結貸借対照表

資産：現金及び預金、売掛金の増加、棚卸資産などの減少

負債：短期借入金の増加、支払手形及び買掛金の減少等

(単位：百万円)

	2023年3月末	2023年9月末
資産の部		
流動資産	210,816	228,791
固定資産	58,611	57,490
資産合計	269,427	286,282
負債純資産の部		
流動負債	162,439	176,459
固定負債	21,892	21,246
純資産	85,095	88,575
負債純資産合計	269,427	286,282
自己資本比率	30.0%	28.7%

キャッシュ・フロー

(単位：百万円)

現金及び現金同等物の期首残高

31,984

■ 営業活動によるCF

△977

> 主に未収入金の増加、棚卸資産及び仕入債務の減少

■ 投資活動によるCF

2,142

> 主に有形固定資産の売却による収入、及び有形固定資産取得による支出

■ 財務活動によるCF

4,313

> 主に短期借入金の純増加、配当金の支払、長期借入金の返済による支出等

■ 換算差額等

1,220

現金及び現金同等物の期末残高

38,982



2024年3月期通期見通しと進捗

単位：百万円	2024年3月期 通期見通し	2024年3月期 第2四半期	進捗率
	金額	金額	
売上高	500,000	245,264	49.0%
営業利益	10,000	7,098	70.9%
経常利益	7,000	3,955	56.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	7,000	3,367	48.1%

2023年5月12日公表の通期業績見通しに変更ございません。



株主還元方針

連結業績予想に基づき財務の安定性を重視

- ・配当の実施や自己株式取得の検討等、株主への還元向上
- ・積極的な戦略投資とともに、適正な資本配分の継続的な見直しを進める
- ・一層の利益の拡大と資本効率の改善を通じた企業価値向上の実現を目指す

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	合計
2024年3月期予想	55円00銭	60円00銭	115円00銭

2023年5月12日公表の通期業績見通しに変更ございません。



レスターグループ 経営理念

ミッション

情報と技術で、新しい価値、サービスを創造・提供し、
社会の発展に貢献します

ビジョン

あらゆるニーズに対応できる
「エレクトロニクスの情報プラットフォーマー」を目指します
世界・社会貢献・共創と革新

バリュー

- ・多様な考えを受け入れ、共創を通じて、新しい文化や価値を創り出します
- ・常に高い目標を掲げて、革新的な発想と情熱で、挑戦し続けます
- ・活躍の場を世界へと広げ、持続可能な社会の発展に貢献します



<お問い合わせ先>

レスターホールディングス 広報・IR部

Mail to : irpr@restargp.com

<将来の見通しに関する注意事項>

このプレゼンテーションに掲載されている当社の現在の計画、見通し、戦略は、将来の業績に関する見通しであり、これらは現在入手可能な情報から得られた当社の判断に基づいております。

実際の業績は、様々な外部要因、内部要因の変化により、これらの業績見通しとは異なる結果となる可能性があります。

実際の業績に影響を与える重要な要素には、世界・日本経済の動向、急激な為替相場の変動並びに戦争・テロ活動、災害や伝染病の蔓延等があります。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。

